

第11回脱炭素社会推進会議 2025年度シンポジウム

「異常気象と脱炭素社会のゆくへ ～建築・都市・地域の多元的デザインの提示～」

日時：2025年1月29日(水)午後1時～5時00分

場所 建築会館ホール 東京都港区芝5丁目26-20

司会：岩本 静男 (神奈川大学), 副司会：宮崎 慎也 (福岡大学)

参加費：無料

建築関連の諸団体が協力して発足した脱炭素社会推進会議は11年目を迎えています。これまでの各分野・団体における脱炭素化に向けた取り組みの進展状況を確認するとともに気候変動の激化が進行中、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、各分野・団体が直面している課題やその課題を乗り越えるために必要な方策、また分野・団体間での連携による相乗効果が期待できる方策を見出す機会としてシンポジウムとして開催します。今後の脱炭素化の取り組みを加速化させるための問いを提示し、具体的な連携したアクションへと繋げることを予定しています。

1部 基調報告

開催挨拶：脱炭素社会推進会議あいさつ

中村 勉

(ものづくり大学、脱炭素社会推進会議議長)

活動報告：脱炭素社会推進会議提言の背景、内容、課題

吉野 博

(脱炭素社会推進会議前議長)

2部 異常気象と脱炭素社会のゆくへ ～建築・都市・地域の多元的デザインの提示～

基調講演：「異常気象と都市・地域災害の深刻さ」

安成 哲三

(総合地球環境学研究所)

コメント

外岡 豊

(埼玉大学名誉教授)

各分野報告：① 勉強会の報告

横尾 昇剛

(宇都宮大学)

① 建築と脱炭素

内野 輝明

(日本建築家協会)

② 環境・設備と脱炭素

竹部 友久

(建築設備技術者協会)

③ 住まいとまちづくり

栗原 潤一

(環境共生まちづくり協会)

④ 建築と社会制度

長岡 篤

(日本不動産学会)

⑤ 分野報告のまとめ討論・今後の活動の連携について

3部 討論

コーディネーター

横尾 昇剛, 糸長 浩司

(前掲), (日本建築学会)

コメンテーター

佐々木 葉

(早稲田大学)

登壇者

中村 勉, 吉野 博, 安成 哲三, 内野 輝明, 竹部 友久, 栗原 潤一, 長岡 篤

まとめ

宮崎 慎也

(福岡大学)

お申し込み

2025年1月28日(火)までに、こちらよりお申し込みください。
右のQRコードからもお申し込み頂けます。

連絡先

メール：jigyo1@kenchikushikai.or.jp (日本建築士会連合会 事務局 高橋)

脱炭素社会推進会議 事務局：(公社)日本建築士会連合会 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階 Tel:03-3456-2061

構成団体：(公社)空気調和・衛生工学会, (一社)建築設備技術者協会, (一助)建築環境・省エネルギー機構, (一社)建築設備総合協会, (一社)住宅生産団体連合会, (一社)電気設備学会, (一社)都市環境エネルギー協会, (一社)日本サステナブル建築協会, (一社)日本建設業連合会, (公社)日本建築家協会, (一社)日本建築学会, (一社)日本建築構造技術者協会, (公社)日本建築士会連合会, (一社)日本建築士事務所協会連合会, (一社)日本太陽エネルギー学会, (公社)日本都市計画学会, (一社)日本木材学会, 日本ヒートアイランド学会, 農村計画学会, 日本環境共生学会, (一社)日本ビルヂング協会連合会, (一社)照明学会, (公社)日本不動産学会, (一社)環境共生住宅推進協議会

